

**教育保育目標：『心もからだも健康な子ども』**

- 意欲をもって行動する子ども ●豊かな感性をもった子ども ●友達と仲良く遊ぶ子ども ●丈夫で元気な子ども ●気持ちや考えを伝える子ども

園舎近くの運動広場にあるため池に、たくさんいたコガモが、めっきり少なくなりました。例年より早く春の光を感じとり、遠い北の国に旅立っていったようです。

また、他の学年の子どもたちもそれぞれ進級の時を迎えます。慣れ親しんだお友達や担任ともお別れです。たくさんの楽しい思い出と成長があったに違いありません。

3月は、別れと出会いの季節です。年長クラス、き

あとひと月ほどになってしまいましたが、互いに安

**アイデアいっぱい いろんな形で『節分行事』ができました**

日本の伝統的な行事の一つ、「節分豆まき」を行いました。0歳から6歳までの乳幼児が生活する竹の友。それぞれの学年の子どもたちの発達に合わせた行事を行いました。

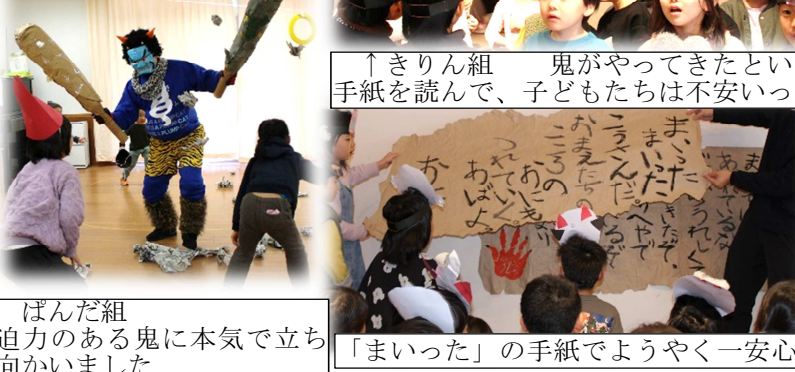
やっつける意欲満々の子ども。入り口からすでに立ちすくむ子ども。鬼を見る前から見せる姿にもその子らしさを感じられ、それぞれが葛藤を抱えながら鬼に立ち向かっていました。

本来ならば炒った大豆(地域によってはピーナツ)を鬼にぶつけて退治するのですが、豆類は誤飲の危険性があることから園では紙を丸めた豆をぶつける鬼退治です。

鬼と戦うシーンにも印象的な場面がたくさん見られましたが、涙を流しながらかんに立ち向かう心の強さに感動させられました。

年長のきりん組では、遊戯室から時間差をつけて、少

さな鬼退治を行いました。



**子ども主体の遊びの中で育まれている「非認知能力」**



竹の友では、子どもの学びの基盤となる**非認知能力(=社会情動スキル)**の育ちを大切にしています。この能力は「**目標に向かって頑張る力**」「**人と関わる力**」「**気持ちをコントロールする力**」の3つの力に大別して表わされます。もちろん

それが分かれて発達するわけではなく、一つの場面でも複数の力が関連し合って育っていくものです。幼稚園はたくさん子どもたちと一緒に育ちを共にする場です。子どもを主体に置いた遊びは3つの力を伸ばす最適な場と

2日(土) 希望保育	26日(火) おわかれ会
8日(金) えいごであそぼう	完全給食
14日(木) 避難訓練	27日(水) 第14回 卒園式
16日(土) 希望保育	各種たより配付
19日(火) 食育の日	布団・靴持ち帰り
20日(水) 祝 春分の日	28日(木) 春季休園・希望保育
22日(金) 園だより配付	~4月4日(木)
23日(土) 希望保育	※ 毎週木曜日にことばの相談会があります

**お知らせとお願い**

**【コロナとインフルエンザの同時流行に注意を！】**

2月に入り、園児及び職員の間で、コロナによる感染者数が急激に増加してきました。ご家庭内でも感染が流行していないでしょうか。心配される場所です。

3月は大きな行事を控えています。これ以上大きな広がりにつながらないよう最大限の注意を払ってきたいものです。

園ではインフルエンザの流行はさほど見られていませんが、県は「注意報」を出して警戒を呼び掛けています。

**感染症の園内拡大防止にご協力をお願いします。**

- インフルエンザの際は発症した日の翌日から5日間が経過し、なおかつ解熱した後3日経過してから登園可
- コロナの際は発症した日の翌日から5日間が経過し、

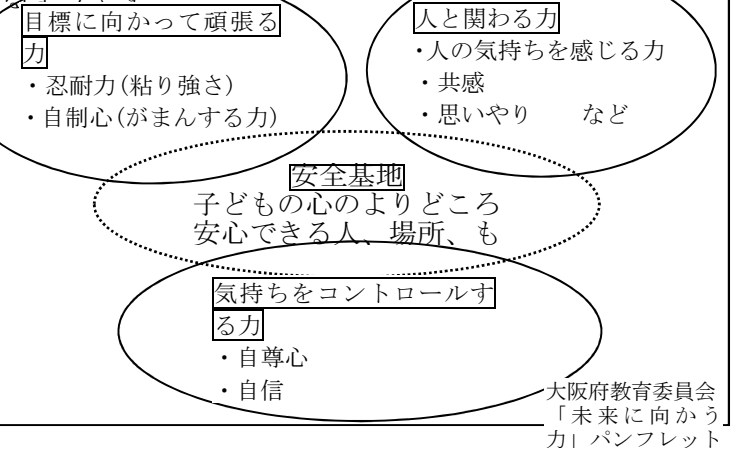
**【個別懇談会 ご参加ありがとうございます】**

ご多用の中、個別懇談会(2歳児は全員、3歳児以上は希望者)にご参加いただきありがとうございます。

就学や進級に向けた心配、生活リズムや友達関係、給食や排せつを含めた身辺自立など、困りごとをもとに色々な話し合いができました。いずれも子どもの成長に沿った情報の交換や相談が

**「非認知能力」ってどんな能力を言うのですか？**

最近、子育ての雑誌や番組でよく目や耳にする言葉です。大人になって経済状態や生活の質を高める上で大切になる力だと言います。簡単に図で表わすと以下のようなようになります。



**ほいくの窓** ※このコーナーは特別支援教育部が担当しています

**睡眠が子どもの脳を変える！  
「早起きのすすめ」**

園だよりの11月号でも紹介しましたが、近年、発達障がいではないのに、それと似たような姿を見せる子どもが増えています。発達障がいに詳しい成田奈緒子さんはそのような発達障がいと間違われる子どもたちを、著書の中で「発達障がいもどき」と表現し、次のような対応方法を記述しています。

..... 一部 紹介します .....

発達障がいもどきを改善するのに欠かせないのが「睡眠」です。睡眠は子どもの脳を変え、睡眠を変えたら気になる行動が消えた、という子はたくさんいます。

お家の方のお仕事や生活リズムにも関係してくると思いますが、「おさんが夜遅くまで起きていて、なかなか寝なくて困る」というような悩みはありませんか？そんな場合は、まず一週間、お子さんを毎朝7時より前に起こしてみましょ。どうせ起きないから...と諦めないこと。大好きなおもちゃやビデオなどを使って、楽しく起こしてみるのがおすすめ。

- 早起きする努力を続けたところ...
- ・寝つくまでの時間が短くなった
  - ・かんしゃくやパニックが消えた
  - ・兄弟げんかが減った ・偏食がなくなった
  - ・集中して遊べるようになった
  - ・暴言を吐いたり友達を叩いたりすることがなくなった

など、生活面での変化も多く出てきたそうです。一週間早起きするだけで、こんなに変わるのです。発達途中の子どもであれば睡眠時間の確保は、脳にとって他のことでは替えがきかないような非常に重要なことなのです。大事なことは早く寝ることではなく、早く起きること。

これからの季節、だんだん朝明るくなる時間が早くなります。ぜひご家庭でも実践してみてください。お子さんに良い変化が現れたら、園の方にも聞かせていただくとありがたいです。

※参考文献：成田奈緒子著 『「発達障害」と間違われる子どもたち』より一部抜粋